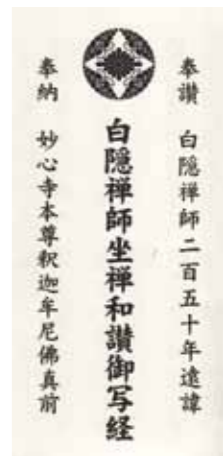


やっています
あつまれ!
写経の日程



第4土曜日の午後1時半から4時半まで本堂で写経ができます。
都合の良い時間に来て、ご自分のペースで写経して、お好きな時間にお帰りください。ただし、初めての時はなるべく1時半にご参集ください。もちろん、檀家さん以外でも参加できます。お友だちを誘ってお越しください。

【写経】令和5年上半期開催日

9月	23日(土)
10月	28日(土)
11月	25日(土)
12月	23日(土)

【日曜の朝の坐禅体験】

やっています



毎週日曜日の朝六時〜七時まで、松岩寺本堂での坐禅に一般の方も参加できます。朝六時に鐘をつきますから、それまでに本堂に入ってください。初心の方には、坐り方をご案内します。三十分坐って休憩、残りの十五分ほど坐って、最後に般若心経をよんで七時に終わります。

【編集後記】その1

◇冒頭で、「パンデミックで世界が凍結して四年余り。寺の行事もちよつとずつ解凍して、元にもどしていきます」と書きました。手始めとして、今夏、八月十五日のおせがき法要には、十名近くの和尚さま方にお越しいただきました。以前とちがうところといえば、講師を招いての法話がまだできなかったこと。
◇自慢するわけではないけれど、先住職がはじめた、松岩寺のおせがき法要の法話の講師は、松原泰道さんが長年勤めてくださりました。泰道師は、仏教書としては、空前のベストセラーを記録した『般若心経入門』(祥伝社)の著者でした。そんな著名講師を招いていたのに、「宣伝がたりないよ!」とある檀家さんからお叱りをいただいたっていました。
◇泰道師は平成二十一年に百一歳で遷化(せんげ)逝去)されました。最晩年は次のようにおっしゃっていたという。「私が死んでも墓参りは不要です。お墓の下にはおりません。あの世でも説法で忙しいので」。しかも、その説法の場合は地獄に限るといふ。なぜか。「地獄でなければ、あなたに会えないではないか」洒落な方でしたが、まれに鋭い眼光を向けられる時があつて、あれはこわかった。
◇そんな方が長年にわたって法話をしてくださった松岩寺の八月十五日です。コロナ禍から元に戻すにしても少し工夫したいな、と思つています。

やっています

【金つぎ教室】講師 花輪滋實
第四土曜日 午後一時半〜四時半まで

【仏像を彫る会】休会中

今日は休み

【声を出して元気になる】休会中

パンデミックで世界が凍結して四年余り。寺の行事もちよつとずつ解凍して、元にもどしていきます。なんて書くとも、「もどかなくってヨイヨイ。コロナの時の短い法要で結構」。なんて、声が聞こえてきます。もともと短い松岩寺の行事ですから、そう長くはならないので、ご安心を。

おひさしぶり!

春の彼岸に続いて、法要後は楽器演奏。フルート奏者をお招きします。

本堂はすべて椅子席です。椅子を並べる間隔を調整するため、電話・FAX・Eメール等でご出席をお知らせください。

9月20日(水=彼岸入り)から24日(日曜日)まで、朝8時から夕方4時頃まで、墓地では花と線香を用意しております。

